

令和5年度 学校評価

■ a 当てはまる
 ■ b どちらかといえば当てはまる
 ■ c どちらかといえば当てはまらない
 ■ d 当てはまらない
 ■ e 分からない

重点目標	具体的な取組目標	項目	アンケート結果		自己評価結果 (教職員)	評価 a + b	成果	今後の取組																								
			生徒アンケート	保護者アンケート																												
1 「働き続けるために必要な力」の内容及び指導方法について共通理解を深め、各指導場面に於ける指導の充実及び定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを活用する力を育むための学習内容及び評価の在り方を検討し、教員の授業力向上を図る。 ・企業が求めている力を分析し、学習にフィードバックする。 ・教師が専門的な知識・技術を身に付け、実践的な指導を通して、コミュニケーションをとったり、柔軟に対応したりするなどの現代社会で求められる職業人としての力を育成する。 	①	<ul style="list-style-type: none"> ・先生は、授業の中で目標を示し、分かりやすい授業を行っている。 (a + b 93%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、分かりやすい授業を行っている。 (a + b 83%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、教科会や授業見学を生かし、生徒が学んだことを活用できるような授業作りを行っている。 (a + b 96%) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルを意識した教科会や授業見学を設定したことで、授業力の向上を図ることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談で授業の様子を伝えるとともに、個別懇談において個別の指導計画や評価について、根拠に基づいた丁寧な説明をしていきます。 																								
		<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>46</td><td>47</td><td>5</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>50</td><td>33</td><td>8</td><td>2</td><td>7</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>37</td><td>59</td><td>3</td><td>1</td><td>0</td></tr> </table>	対象	a	b	c	d	e	生徒	46	47	5	2	0	保護者	50	33	8	2	7	教職員	37	59	3	1	0	②	<ul style="list-style-type: none"> ・先生は、授業の中で職業人として必要な力を分かりやすく説明し、身に付けるための指導をしている。 (a + b 94%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、校内外の実践的な学習の中で、職業人として必要な力を育てる指導をしている。 (a + b 91%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、企業が求めている力を授業者間で共有し、職業人として必要な力（コミュニケーション力や柔軟な対応力等）を育てる指導を行っている。 (a + b 97%) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業アンケートで、「各企業が求める力」について情報を聴取、分析し、結果を各専門分野での指導にフィードバックすることができました。 ・具体的な指導例をまとめることができました。
対象	a	b	c	d	e																											
生徒	46	47	5	2	0																											
保護者	50	33	8	2	7																											
教職員	37	59	3	1	0																											
2 生徒自身が主体的に学び、行動できることを目指して、生徒が自己肯定感（有用感）を高め、自己理解を深められる指導の充実及び定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の関わりの中で生徒自身や生徒同士が、それぞれの長所や課題を理解（意識）して、自ら考え行動できるよう指導する。 	③	<ul style="list-style-type: none"> ・先生は、生徒の良い所や課題を分かりやすく説明し、自分で考えて行動できるように指導をしている。 (a + b 91%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、生徒の良い所や課題を分かりやすく説明し、自分で考えて行動できるように指導をしている。 (a + b 88%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、生徒が自己理解を深めるための手立てを工夫し、生徒が自ら考え、学習に取り組むことができるよう指導をしている。 (a + b 95%) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や支援の方針を教員間で共有し、丁寧な指導を行ってきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士が互いの良さや課題に気づき、高め合える関係を築くための支援を行っていきます。 ・授業の準備や段取り、提示の方法等を精選し、生徒が主体的に動くための環境設定を行っていきます。 																								
		<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>48</td><td>43</td><td>7</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>50</td><td>38</td><td>7</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>37</td><td>58</td><td>3</td><td>2</td><td>0</td></tr> </table>	対象	a	b	c	d	e	生徒	48	43	7	2	0	保護者	50	38	7	2	3	教職員	37	58	3	2	0	④	<ul style="list-style-type: none"> ・先生は、自信や達成感、安心感につながるように、褒めたり、気持ちに共感したりしてくれる。 (a + b 83%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、生徒が自信や達成感、安心感を得られるような環境づくりに努めている。 (a + b 87%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、生徒の自信や達成感や安心感を得られる場面を設定して指導をしている。 (a + b 98%) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・開校以来初めて学校祭で後夜祭を実施しました。生徒の意見、要望を取り入れながら円滑な実施をサポートできました。 ・日頃から自信や達成感や安心感を育む関わりを大切にしてきました。
	対象	a	b	c	d	e																										
	生徒	48	43	7	2	0																										
	保護者	50	38	7	2	3																										
	教職員	37	58	3	2	0																										
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が学校行事や委員会活動、部活動等に主体的に取り組めるよう指導する。 	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・先生は、生徒が意欲的に学ぶことができるように選択・決定する場面を作っている。 (a + b 85%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、生徒が意欲的に学ぶことができるように選択・決定する場面を設けている。 (a + b 88%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、生徒が主体的に学ぶことができるように選択・決定する場面を設定している。 (a + b 96%) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年生は、各教科において学級集団の中で選択できる場面を導入してきました。 ・3年生は、自立活動の時間に学年全体での自己選択型授業を導入し、自己理解を深めることにつながりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が自己選択している実感が持てるように、今後も学年の実態に応じて段階的に選択・決定できる場面を設定していきます。 ・生徒が意欲的に取り組めるように、学ぶ目的や授業中に達成すべき事柄を明確にしています。 																									
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の得意なことを生かした主体的な学びの実現に向けた授業の展開を促進する。 	⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・先生は、ICT機器（タブレットや電子黒板、パソコン）を使った授業をしている。 (a + b 89%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、ICT機器（タブレットや電子黒板、パソコン）を活用した授業を行っている。 (a + b 60%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校では、ICT機器を活用した授業の工夫をしている。 (a + b 89%) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりもICT機器の使用頻度を増やすことができました。（各種アンケートのペーパーレス化、授業での活用、授業資料の共有、電子黒板の活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを有効に活用し、主体的な学びへとつなげるための授業研究や教員研修を進めていきます。 ・保護者会や学年会、ホームページ、各種より等で学習の状況やICT活用による学習効果を保護者と共有できるよう積極的に発信していきます。 																									
<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>49</td><td>34</td><td>13</td><td>4</td><td>0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>51</td><td>36</td><td>7</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>42</td><td>56</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> </table>	対象	a	b	c	d	e	生徒	49	34	13	4	0	保護者	51	36	7	3	3	教職員	42	56	1	1	0	⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・先生は、ICT機器（タブレットや電子黒板、パソコン）を使った授業をしている。 (a + b 89%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、ICT機器（タブレットや電子黒板、パソコン）を活用した授業を行っている。 (a + b 60%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校では、ICT機器を活用した授業の工夫をしている。 (a + b 89%) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりもICT機器の使用頻度を増やすことができました。（各種アンケートのペーパーレス化、授業での活用、授業資料の共有、電子黒板の活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを有効に活用し、主体的な学びへとつなげるための授業研究や教員研修を進めていきます。 ・保護者会や学年会、ホームページ、各種より等で学習の状況やICT活用による学習効果を保護者と共有できるよう積極的に発信していきます。 	
対象	a	b	c	d	e																											
生徒	49	34	13	4	0																											
保護者	51	36	7	3	3																											
教職員	42	56	1	1	0																											
<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>42</td><td>43</td><td>11</td><td>4</td><td>0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>46</td><td>42</td><td>6</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>39</td><td>57</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	対象	a	b	c	d	e	生徒	42	43	11	4	0	保護者	46	42	6	3	3	教職員	39	57	4	0	0	⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・先生は、ICT機器（タブレットや電子黒板、パソコン）を使った授業をしている。 (a + b 89%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、ICT機器（タブレットや電子黒板、パソコン）を活用した授業を行っている。 (a + b 60%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校では、ICT機器を活用した授業の工夫をしている。 (a + b 89%) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりもICT機器の使用頻度を増やすことができました。（各種アンケートのペーパーレス化、授業での活用、授業資料の共有、電子黒板の活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを有効に活用し、主体的な学びへとつなげるための授業研究や教員研修を進めていきます。 ・保護者会や学年会、ホームページ、各種より等で学習の状況やICT活用による学習効果を保護者と共有できるよう積極的に発信していきます。 	
対象	a	b	c	d	e																											
生徒	42	43	11	4	0																											
保護者	46	42	6	3	3																											
教職員	39	57	4	0	0																											
<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>62</td><td>27</td><td>8</td><td>3</td><td>0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>33</td><td>27</td><td>10</td><td>3</td><td>17</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>36</td><td>53</td><td>11</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	対象	a	b	c	d	e	生徒	62	27	8	3	0	保護者	33	27	10	3	17	教職員	36	53	11	0	0	⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・先生は、ICT機器（タブレットや電子黒板、パソコン）を使った授業をしている。 (a + b 89%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、ICT機器（タブレットや電子黒板、パソコン）を活用した授業を行っている。 (a + b 60%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校では、ICT機器を活用した授業の工夫をしている。 (a + b 89%) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりもICT機器の使用頻度を増やすことができました。（各種アンケートのペーパーレス化、授業での活用、授業資料の共有、電子黒板の活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを有効に活用し、主体的な学びへとつなげるための授業研究や教員研修を進めていきます。 ・保護者会や学年会、ホームページ、各種より等で学習の状況やICT活用による学習効果を保護者と共有できるよう積極的に発信していきます。 	
対象	a	b	c	d	e																											
生徒	62	27	8	3	0																											
保護者	33	27	10	3	17																											
教職員	36	53	11	0	0																											

3 生徒が自らの安全・健康を守るために必要な判断や行動ができるようになることを目指して、日常生活指導や安全に関する学習・指導の充実及び定着を図る。	・危険予測能力、危機回避能力を身に付けられるよう指導する。	⑦	・先生は、交通安全、情報モラル、災害時対応、健康管理等、身を守る方法について具体的に指導をしている。 (a + b 94%)	・学校は、生徒が自ら身を守る方法（交通安全、情報モラル、災害時対応、健康管理等）についての実践的な指導をしている。 (a + b 82%)	・私たちは、生徒が自ら身を守る方法（交通事故、情報モラル、災害時対応、健康管理等）について具体的に教え、状況に応じて行動できる指導をしている。 (a + b 97%)	A	・情報や自立活動の時間を活用し、情報モラル、交通安全の危険予測、回避についての学習を計画的に行いました。	・校外外を問わず多様な場面を想定し、状況に応じた対応力を身に付けるためのシミュレーションを行っています。																	
	・生徒が自らの安全、健康を守るために必要な判断や行動が主体的にできるよう指導する。		<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>62</td><td>32</td><td>4</td><td>2</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>44</td><td>38</td><td>11</td><td>3</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>48</td><td>49</td><td>3</td><td>0</td></tr> </table>	対象	A		B	C	D	生徒	62	32	4	2	保護者	44	38	11	3	教職員	48	49	3	0	・地震を想定した避難訓練を年間4回実施（そのうち2回は生徒への予告なし）しました。実施後には自らの行動についての振り返りを行いました。
対象	A	B	C	D																					
生徒	62	32	4	2																					
保護者	44	38	11	3																					
教職員	48	49	3	0																					
4 地域社会（家庭、企業及び関係機関）に向けて、本校の教育方針や教育活動の情報（ねらいと手立て：障害特性等への対応・配慮等）を分かりやすく発信する。	・各部と連携しながら、地域社会に向けて、活動等の情報を分かりやすく発信する。	⑧	・学校は、生徒の活動の様子をホームページや広報紙、たより等で分かりやすく知らせている。 (a + b 87%)	・学校は、教育活動（学習の様子や校外の取組等）について、ホームページや広報紙、たより等で分かりやすく発信している。 (a + b 83%)	・私たちは、教育活動について、ホームページや広報紙、たより等で、地域社会へ分かりやすく発信している。 (a + b 97%)	A	・ホームページの再編を行い、レイアウトの工夫や多くの記事の掲載について取り組むことができました。	・ホームページの見やすい、見たくなるレイアウトの改善や素早い更新を目指します。																	
	・地域社会のニーズをとらえた学習活動を展開し、活動等の情報を分かりやすく発信する。		<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>44</td><td>43</td><td>9</td><td>4</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>44</td><td>39</td><td>11</td><td>2</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>48</td><td>49</td><td>3</td><td>0</td></tr> </table>	対象	A		B	C	D	生徒	44	43	9	4	保護者	44	39	11	2	教職員	48	49	3	0	・学校祭関連では、9月から準備段階を発信、当日はYOUTUBE発信、終了後も活動の様子が発信ができました。
対象	A	B	C	D																					
生徒	44	43	9	4																					
保護者	44	39	11	2																					
教職員	48	49	3	0																					

評価基準について A～Dの4段階評価とする。自己評価の結果（a + bの割合）で評価する。

- A：達成した（8割以上）
- B：ある程度達成した（6割以上）
- C：達成が不十分だった（4割以上）
- D：達成できなかった（4割未満）

○ 保護者からの教育目標を達成するための学校の取組についてのご意見（自由記述）

- ◆中学校への的確な進路指導の要望について
- ◆特別支援教育に携わる教員としてのプロ意識と対応力について
- ◆常に危機意識を持った学校全体での指導について
- ◆コミュニケーションに基づいた教員間のチームワークについて
- ◆大人としての在り方を示す教員の姿について
- ◆データの信憑性について
- ◆生徒の心に響く許されざることへの毅然とした対応について
- ◆生徒の自己肯定感を育むための教師の寄り添いや叱咤激励する支援について
- ◆生徒一人一人の声が届く学校づくりについて
- ◆ホームページの更新について
- ◆教員の言葉遣いについて
- ◆一人一人の生徒への関わり方について（特性、思いへの配慮や対応等）について

○ 学校評議員の皆様からのご意見

- ・生徒の評価が良いと思う。先生方の取組がみんなに伝わっていると思われる。保護者への発信にホームページを活用しているのは良い。さらに生徒から保護者へ伝わるような生徒と学校の関わりを大切にしていってほしい。
- ・親子で相談できる環境づくりができると良い。
- ・ICT機器を活用することで、保護者の利便性の向上が高まったが、これまでのように保護者との関係も大切にしていってほしい。
- ・保護者に学校に多く来てもらえるような工夫をしてもらえるとう良い。
- ・生徒たちの挨拶が地域でもっと見られるとう良い。